

ヒトメタニューモウイルス感染症とは

気管支炎や肺炎などの呼吸器感染症をひきおこすウイルスの一種です。1～3歳の幼児の間で流行することが多いのですが、大人にも感染します。小児の呼吸器感染症の5～10%、大人の呼吸器感染症の2～4%は、ヒトメタニューモウイルスが原因だと考えられています。とくに乳幼児や高齢者では重症化することがあり、注意が必要です。3月から6月が流行のピークです。

【主な症状】

ヒトメタニューモウイルス感染症は、いわゆる風邪症状にとっても似ています。

咳・・・1週間程度続きます。

熱・・・4～5日程度続きます。

鼻水

※ 悪化すると以下のような症状が出る場合があります。

ゼイゼイ(ヒューヒュー)という喘息様気管支炎、細気管支炎、呼吸困難など。



【この感染症の特徴】

ヒトメタニューモウイルスに感染しても、1週間程度で症状はおさまります。しかし、1回の感染では免疫が付きません。何度か繰り返して感染してしまいましたが、年齢が上がるにつれて徐々に免疫が付き、症状が軽くなる傾向にあります。

【この感染症の治療】

ヒトメタニューモウイルスだけに感染している場合、各症状を楽にするための対症療法がおこなわれます。水分をしっかりととり、温かくして、ゆっくりと休みましょう。症状が辛い時は、咳や鼻水をおさえたり、熱を下げたりするためのお薬が出ることがあります。

【細菌の同時感染にも注意】

ヒトメタニューモウイルスと同時に細菌にも感染してしまうことも少なくありません。ヒトメタニューモウイルスに感染し、熱が4日以上続く場合は、細菌にも感染している可能性があり、その場合は、抗菌薬が必要となります。熱が長引く時は中耳炎や細菌による肺炎などをおこしていることがあるので、もう一度早めに受診しましょう。又、薬は医師や薬剤師の指示通りに飲ませましょう。

【手洗い・うがいなど 家庭内でも感染対策をお願いします。】

ヒトメタニューモウイルスは、咳やくしゃみではき出されたウイルスが付いてしまったり（飛沫感染）、気がつかないうちにウイルスに触れてしまったり（接触感染）することで感染がひろがります。保育園などでの集団感染に注意する必要がありますので、家に帰ってきたら、手洗い・うがいを徹底しましょう。又、家庭内でもご兄弟、ご両親、おじいさん・おばあさんに感染してしまうことがあります。お子さんの調子がよくないときは、ウイルス感染が広がらないよう、マスクを着用する、タオルや食器を分けるなどの感染対策をしましょう。

